

## 30309その他の建設業－その他における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	10~11	作業場で製作済配管（150A、11m、145kg）を移動しようとして、ユニックで吊り上げて移動したとき、吊荷が揺れて、横に置いてあったシュートに左手を挟まれ負傷した。	26	7	212	1~9
2	2017	12	10~11	外構工事において、RC造のガレージの門部分の左官作業を足場上（高さ約1.6m）で行なっていたとき、横に移動しようとした際に体のバランスを崩し、誤って地面に落ち、左足踝・右足膝および腰部を打ち負傷した。	76	1	411	1~9
3	2017	12	13~14	被災者は、トレーラダンプのオイル交換のため、ピットにて作業をしていた。ピット上の金網を移動させようと持ち上げて移動したところ、足を踏み外して背中から転落し、その際に背中をピットの角で打ち、打撲を負った。	51	1	418	300~499
4	2017	12	9~10	事務所内、天井付けの蛍光灯清掃時に脚立を使用し、左足を軸足、右足を同じステップへ下げた際にバランスを崩し床面に落下した。	55	1	371	1~9
5	2017	12	15~16	出張中、供試体（舗装の耐久性評価のためのもの）作製室で、敷均し装置の清掃作業中、装置内にあるスクリュウが回転し、右足を損傷した。	64	7	391	1~9
6	2017	12	10~11	動物病院の廃棄物回収のため、トラックの荷台で荷物の積み込み作業をしていた。積み込みをした鉄のカゴがすべり落ち、鋭角部分が左大腿部を裂創させた。	33	4	521	1~9

7	2017	12	9~10	ガス発電機室大扉前で、発電機事故発生時の駐車場所を確保するために除雪作業中、路面が凍っていたのに気づかず、左足が滑り、右足に重心をかけて転び、右足首を骨折した。	64	7	719	10 ~ 29
8	2017	11	13~14	新庁舎建設に伴う解体工事の為、被災者は当日、手作業で解体工事を担当していた。被災者がダンプの荷台の上から、解体するスレート屋根を突っついて壊していた時、足を滑らして落下し、腰を強打した。	66	1	221	10 ~ 29
9	2017	11	16~17	仮設材の整備作業をしており、資材を積み重ねている際、持ち上げていた左手が滑り、右手中指を材料で挟み、骨折した。	47	4	521	30 ~ 49
10	2017	11	22~23	受注した製品（家具）の上部を4尺脚立の3段目に乗り吹き付け塗装をしていたが、終わって下に降りようとした時左手で脚立を持ち、身体を支えていたが不十分であったようで足を滑らせ脚立ごと後方に倒れ転倒して左肩付近を打撲した。左肩付近に痛みがあったが、我慢していたが翌日咳をした時痛みがあった為、労災指定の保健医療機関の整形外科クリニックへ行き診察、治療等の行為を受けた。肋骨骨折だと判明した。	42	2	371	1~ 9
11	2017	11	18~19	資材置場にて、トラックの上でラック上の材料を整頓していたところ、材料が落下した。左足首がトラックの荷台と材料で挟まった。	16	4	529	30 ~ 49
12	2017	11	14~15	社長の家でチェーンソーで木を切っている時に、細長い枝を短く切ろうと左手に枝を持ち切ろうとした時に雨で濡れていたのが手が滑り、左手の薬指に当たり爪を負傷した。	32	8	136	1~ 9
13	2017	11	11~12	被災者が会社の資材置場で移動式クレーンの鋼材玉掛けをしていた。鋼材にワイヤーを掛けて吊り上げようとした時、親指を挟んだまま、吊り上げてしまった。材料の整理作業中であった。	23	7	212	10 ~ 29
				自社資材置場において、ユニッククレーンにて資材積み込み作				

14	2017	11	16~ 17	業中に、クレーンの旋回を見ていて足元の段差に気付かず、段差下で右足を捻り、右第5趾中足骨を骨折した。	49	19	418	1~ 9
15	2017	11	15~ 16	建物南側において、作業床を設置するための十分な道幅がなく、かつ天面に高所作業用の丸環が設置されていないため、梯子を用いて作業を行う段取りを行った。梯子固定の為に梯子手摺り部に付けていたカラビナを調整するために梯子を昇降していた際、突風に煽られ、補助員が梯子を押さえていたが耐え切れず梯子ごと転倒した。転倒した際に右手と右膝を地面に強打ち、骨折した。	37	1	371	500 ~ 999
16	2017	10	16~ 17	法面にて草刈機を用いた集草作業終了時に機械のエンジンがかかった状態で反転機に絡んだ草を除去しようと右側前方の本番キャタピラと反転機の間に入れた際、首にさげていたコントローラーのレバーが反転機と接触した。そのため機械が前進し被災者がキャタピラに接触し転倒、右大腿部をキャタピラに轢かれた。	34	6	169	10 ~ 29
17	2017	10	13~ 14	建物2階部分の外壁施行状況を確認していたところ足場より、足を踏み外して転落。左肋骨、胸椎横突起骨折。	37	1	411	1~ 9
18	2017	10	4~5	走行中、対向車線より中央線を越えてくる対向車に気づき、回避のため、ハンドルを切ったが間に合わず、対向車線上で衝突した。	38	17	231	1~ 9
19	2017	10	9~ 10	本人は、管設置場所において、ビデ足場と鋼管パイプで組み立ててあった足場を解体する作業に従事していた。鋼管パイプを分解中に、鋼管パイプのクランプを外し作業を行っていたとき、足場2段目（約3m）から滑り、転げ落ち負傷したものの。	38	1	411	30 ~ 49
20	2017	10	11~	当社倉庫内にて、仮設資材の整理作業中、足場支柱を立てる部材のジャッキ（3.1kg、60cm）を7~9本かかえて移動させる作業中、バランスを崩し、転倒した。部材を持った左手を下に	28	2	416	10 ~

			12	あった部材に挟み負傷した。材料を多く持ちすぎたこと、転倒した時に材料をはなさなかったことが負傷の原因と考えられる。					29
21	2017	10	11~ 12	工場内でのボイラー清掃作業において点検口から点検口用ス テージに出た後フロアーに降りる際、梯子を使用せずに下降し た。その際転倒し、フロアーに置いてあるコードリールに左胸 部を打ち肋骨を骨折した。	61	1	311		1~ 9
22	2017	10	16~ 17	本社での事務作業終了後、出張先（新築工事作業所）近くの借 り上げ社宅に帰るため、新幹線の階段を上っている途中足を踏 み外し足を咄嗟についたらつき方が悪く膝を捻って負傷。	26	1	413		30 ~ 49
23	2017	10	17~ 18	会社の階段で足を踏み外して両膝を強打した。原因としては荷 物で足元が見えず周りが暗かった。	56	2	413		1~ 9
24	2017	10	16~ 17	事業場の資材置き場にて解体資材の整理作業中、資材を取ろう と階段を上っている時、誤って段を踏み外してしまい、転倒し た拍子に地面まで転落し背中と腰部を打った。帰宅して安静に していたが、痛みが治まらなかった。	61	1	413		1~ 9
25	2017	10	2~3	コンクリート枕木（150kg）を2名で引きずりながら移動中、腰 がグキとなり、左腰から膝までしびれた。	29	19	911		10 ~ 29
26	2017	10	9~ 10	解体現場にて養生の為、ブロック塀際の土間コンクリートの上 に鉄板を敷設していた際、バックフォアのバケットにて鉄板を 叩いていた。叩いていたバケットが滑り、ブロック塀に激突し た際に誘導していた被災者の手が挟まれて負傷した。	29	7	142		30 ~ 49
27	2017	10	16~ 17	工事現場のローラー作業が終了したので、事務所に運んできた ローラーを片付ける作業をしたいた。当社従業員が、後方にい た別の当社従業員に気付かずローラーをバックして右足を轢い てしまった。この事故で右腓骨骨折、右甲足骨骨折のケガを 負った。	48	7	144		10 ~ 29

28	2017	9	16~ 17	AHの中温エレメントを既設電動ホイストで抜き出していた、被災者がエレメントの抜き出し補助と振れ防止のため右手をエレメント側面に添えた、その後左手をエレメント上部に添えようと上昇中のエレメントを見下ろしたまま左手を不用意に伸ばした時、ホイストのワイヤーロープと滑車に左手薬指と小指を挟まれ被災した。	29	7	211	1~ 9
29	2017	9	16~ 17	工場焼却炉内等点検委託において、3号炉内足場仮設中に仮設階段を使用して4階から3.5階に下りるために階段を一段下りたところ、仮設階段の上部フックと足場単管パイプの掛かりが悪かったため、階段が外れて、被災者が階段と一緒に3階作業床まで3.8m墜落し、左足首を受傷した。	57	1	411	1~ 9
30	2017	9	15~ 16	民家駐車場工事現場で、梁角パイプの位置決め固定中に角パイプを固定する万力が不完全に固定された状態で荷締機で引張って微調整をしていたため、万力が外れて反動で移動した角パイプが腕に当たり、左前腕を骨折した。	59	6	379	10 ~ 29
31	2017	9	14~ 15	型枠を作成中、仮に柱に立掛けてあるコンパネ（1600×900重さ約15kg木製）の下に置いてあったベニヤをしゃがんで引っ張った際、コンパネが倒れ首の後ろをコンパネの側面が直撃し負傷した。	25	5	522	1~ 9
32	2017	9	16~ 17	脱水槽、攪拌軸を吊り上げ搬出するため、4名で作業を実施した。吊り上げ班2名（被災者）が玉掛をし、5t用電動チェーンロックで巻き上げを開始した。攪拌軸を1.5m程吊り上げた時に軸に付いている攪拌翼が、インターナル管に引っ掛かり、吊りワイヤーが破断して、攪拌軸が落下した。支えていた2名が軸に当たり、被災した。	27	4	372	1~ 9
33	2017	9	9~ 10	電動丸のこを使用しようとして、スイッチが入りになっていてロックされていた、それを知らずに、コンセントを入れたら地面に置いていた丸のこが、暴れて歯が左足の親指に当たり、深	46	8	131	10 ~

				く切れた。				29
34	2017	9	15～ 16	現場作業を中断し、翌週使用する作業道具移動のため、本人自宅から現場作業道具等を事務所に移動する際に自宅アパートの階段において、バランスを崩して転落し、被災した。	54	1	413	10 ～ 29
35	2017	9	12～ 13	交差点にて信号待ちをしているところに、後方より追突された。	48	17	231	30 ～ 49
36	2017	9	15～ 16	法面で、集草作業をしているときに、足を滑らせて滑落し地面に身体をこすられ、切株に脇腹を打ちつけ、上記傷病となり12日間休業した。	41	1	711	1～ 9
37	2017	8	9～ 10	屋根に登り、2階側面を高圧洗浄中、ガンを持ったまま足を滑らせ転倒し、屋根から転落した（高さ3.6m）。その際、ヘルメットと安全帯は未装着であった。	50	1	415	1～ 9
38	2017	8	11～ 12	第3地区発掘調査において、営繕用地整備のため、斜面地の除草作業を行っていた。斜面高さ1.5m程のところから木の枝を掴み降りようとしたとき、木の枝が折れて落下し、側溝に右膝を強打して骨折した。	61	1	417	30 ～ 49
39	2017	8	14～ 15	4階でダクトの吊りこみ作業中、壁際にダクトを通そうとした際、台車の上にボード材（182cm×91cm、重さ16.1kg）が9枚のせてあり、邪魔になったため移動しようとしたところ、台車からボード材がずれ落ちてきた。支えようとしたが重さに耐えきれず、背面の窓に倒れ込み、窓枠に左鎖骨を打ちつけて負傷した。	32	6	529	30 ～ 49
40	2017	8	12～ 13	当社施設においてダンボール箱を足で踏み潰す作業を行っていた。その際にダンボールの上で右足が滑り、垂直に沈む形で体が倒れたので、右手で体を支えようと手をついた際に右手首を骨折した。	44	2	611	10 ～ 29

41	2017	8	11~ 12	立て掛けてあったボードの中から一枚を引っ張り出そうとして、重さに耐えきれず倒れてしまい、下敷きになった。	20	5	529	1~ 9
42	2017	8	16~ 17	バックホウのオイル点検中にバランスを崩し、バックホウの上から飛び降りた。片足を着地したが、下がコンクリートであったため、左足首を骨折した。	75	1	142	1~ 9
43	2017	8	16~ 17	工場内で穴あけ作業中、ボール板で穴あけをするときに切りカスが出るため、出た切りカスを左手で取ろうとして、皮手の先がドリルに巻き込まれてしまい、中指の皮がはがれて骨だけとなり、また、人差し指の第一関節を脱臼した。	71	7	152	1~ 9
44	2017	8	22~ 23	自動車に乗り込むために徒歩での移動中、仮囲いに使用していた仮設ガードレール（H700）を跨いで乗り越えようとしたところ、右足を引っ掛けてしまい、バランスを崩して転倒した。その際に右膝から着地したため、右膝を負傷した。	46	2	419	30 ~ 49
45	2017	8	15~ 16	アスコン敷均しの作業中、スコップで作業をしていた際に方向転換をしたところ、左足かかとが転圧作業中の振動ローラの右前軸と接触し、左靭帯を損傷した。	22	3	144	1~ 9
46	2017	8	10~ 11	自社の資材置場で発生、草刈り作業中に足場板を移動している時に腰を痛めた。	22	19	921	1~ 9
47	2017	8	14~ 15	屋根で作業中の作業員が誤って薬品をこぼして、下にいる作業員にかかってしまった。	54	12	519	1~ 9
48	2017	7	16~17	客先にて雨水排水工事の際、砂利の地面にアルミ製の梯子を立てかけ、屋根（高さ約3m）に上がる途中、砂利で梯子が滑り、バランスを崩し、梯子と共に地面に落ち、腰と左手を負傷した。	48	1	371	1~ 9
49	2017	7	13~14	会社敷地内で車輛の荷台を片付け中、荷台の上で足をふみはずし、車輛周辺に置いてあった機材の上に左側を下にする形で、転落した。（本人談）発生時には周囲に誰もおらず、推定30分	64	1	221	1~ 9

				後に、代表者が発見した際、本人はその場にうずくまっていた。				
50	2017	7	16~17	工場の濃縮槽ピット内で、仮設足場組立作業を行っている際、足場上で症状（手足がつった状態）が発症したため、その場で横になり経過を見たが症状が改善されず、診断結果は熱中症で入院して様子を見ることになった。	51	11	715	1~ 9
51	2017	7	13~14	当社中間処理場において、トラックの荷降ろし（手降ろし）作業中に、金型のクズ同士がぶつかり、その際に鉄くず破片が飛散し、右目にあたり右目に傷がついた。	71	4	521	10 ~ 29
52	2017	7	10~11	上記日時、山林にて埋め立て工事のため、チェーンソーを使用して山林伐採作業を行っていた。その際に倒れてくる木を避けるために、もともと倒れていた木を飛び越えようとしたところ、右膝上腿を強打し転倒してしまったものである。	48	1	413	1~ 9
53	2017	7	15~16	現場で鉄の柱を支えているときに誤って倒れてしまい、左足甲に落ちてきて負傷した。	52	5	419	1~ 9
54	2017	7	8~9	丸くするためトリマーを使い刈り込み作業中、トリマーのエンジンを止めずに置き、刈って落ちた葉を整理していたため、トリマーの刃と右手小指が当たってしまい裂傷した事故。	34	7	131	10 ~ 29
55	2017	7	15~16	インターの間で、処分場から現場へ戻る途中、前方から鳥が飛んできて避けようとハンドル操作を誤り、追越車線側のコンクリート壁にぶつかった。	20	17	221	10 ~ 29
56	2017	7	16~17	玄関の屋根にのぼり、玄関の屋根と壁の水切りを取り付け中、屋根の軒先から足を滑らし地面へ転落、両手に創と背中と腰を打撲受傷した。	75	1	415	1~ 9
57	2017	6	14~ 15	社内の資材置場において型枠の組立作業中、左側の脇を型枠に押し付けて、無理な体勢で作業をし、直後は少し違和感があったものの痛みはなかった。その後に痛み出し、少しずつ強く	53	19	921	1~ 9



				なってきた。左第7肋骨骨折と判明した。				
58	2017	6	17～ 18	残土搬出をするため4tダンプを開閉中に。右指を挟み負傷した。	40	7	221	1～ 9
59	2017	6	11～ 12	敷地内の草刈作業を行っていた時、鎌で竹を切ろうとしたところ、竹で鎌の刃が滑り、左手を負傷した。	69	8	364	1～ 9
60	2017	6	12～ 13	一体空冷コンデンサーファンモーター交換作業で、ブレーカーを切って作業していたが、ファンモーターのビスがドライバーでは外れず、インパクトドライバーに切り替えたが充電切れの為、運転を再始動し、充電を待っている間に再度ドライバーを左手（利き手）に持ち、作業を開始したところ、回らなかったビスが回り、惰性で作業服の左腕袖のボタンを留めてなかった為、隣のファンに左手首が巻き込まれて負傷した。	42	7	121	10 ～ 29
61	2017	6	17～ 18	今回の災害は、住宅新築工事現場にて発生したものである。取引先が工事で使用する部材（タイル接着剤）を現場にお届けした後、現場外回りの点検・清掃を行っていた。玄関付近を点検するため、玄関ポーチ上に上がろうと設置してあった足場板に足を掛けたところ足場板がずれ、バランスを崩して転倒した際、左足左腕を打ちつけた。当日は若干の痛みであったが、翌日になり左足が腫れて痛みが増した。	46	2	379	—
62	2017	6	14～ 15	集煙部のケレン作業用足場が組み上がったので、足場の組立状況の確認と塗装予定部の状態確認を、強力会社2名と設備チーム1名の3名で実施していた。集煙部周りの足場を通行時に、ウインチワイヤー滑車の中に左手を巻き込まれた。救急車で病院に搬送され、手術・加療中である。	48	7	219	10 ～ 29
63	2017	6	10～ 11	平な山林で玉切作業をしていて、次の玉切作業に移るため待機中で、地面に付いていたつるに上がっていた。そのつるが、引き寄せする木に絡まって伸びているとは知らなかった。重機オペレーターが次の作業をするために、木を引き寄せ始めたところ	58	7	171	10 ～

				ろ、つるが持ち上がり、別の重機のキャタピラの部分に引き寄せられ、つるとキャタピラに挟まれて被災した。				29
64	2017	5	10～ 11	被災者の就業場所である支店の資材置き場にて、作業に用いる攪拌翼をクレーンで吊り上げて移動中、地面に降ろす際に添えていた被災者の指が、すでに置かれていた別の攪拌翼との間に挟まれ負傷した。	57	7	211	10 ～ 29
65	2017	5	14～ 15	自社ガレージにて、12tラフタークレーン作業後、ガレージに戻り、クレーン車の汚れがひどいため洗車していたところ、車体が濡れていたため足を滑らせ2m位の高さから転落して左手首を骨折した。	31	1	212	1～ 9
66	2017	5	15～ 16	脚立に乗ってコンテナの上の物を動かしている際、誤って脚立（約3m）から転落し、全身を強打した。	23	1	371	1～ 9
67	2017	5	8～9	林道の崩土集積及び搬出する際、タイヤショベルにて崩土を集積作業中、一旦集積後、タイヤショベルをバックするときに後方確認を十分しないままバックした為、路肩より重機と共に約2m下に転落した。	52	1	141	1～ 9
68	2017	5	10～ 11	個人宅外構工事現場内において、電動コンクリートカッターでブロック塀を斫り作業中、カッターを滑らして左母指の付け根部分に接触して切傷した。	63	7	363	1～ 9
69	2017	5	18～ 19	現場作業後、当社の材料置場にて、見切（天井と壁境の材料）を脚立（1200）にて片付け、下りる際に上から2段目（1000弱）から飛び下り、左足首を負傷した。	22	1	371	1～ 9
70	2017	5	8～9	家屋の解体作業で、被災者1階の屋根から2階の屋根に梯子で昇っていたところ、屋根に足を掛けるところで梯子が滑り、体勢を崩して1階の屋根部分まで落ち、体を打った。	64	1	371	1～ 9
71	2017	4	9～	浄化槽埋設工事現場にて、掘削作業で土中の石をハツリ工具にて砕いているときに、ハツリ工具の先端が石から滑って、先に	35	6	364	1～

			10	あった自分の左足甲に当たった。				9
72	2017	4	16～ 17	自社工場から作業現場へ向かうため2トン車で走行中、運転操作を誤り、道路右側のガードレールを突き破り、約7メートル下の崖下に転落し、全身打撲、頸椎捻挫を負った。	55	17	221	10 ～ 29
73	2017	4	12～ 13	2階屋根で古瓦撤去中に誤って腐ったタルキを踏み、1階まで落下し骨折した。	39	1	415	1～ 9
74	2017	4	16～ 17	当社内にて片付け作業中、重機で鉄板を吊り、オペレーターが鉄板を降ろそうとした時に合番していた補助作業員の手が入っているのに気づかず鉄板を下したため、鉄板と地面に挟み左手中指先端を負傷した。	45	7	521	1～ 9
75	2017	4	13～ 14	中間スラブにあるダクトを撤去するため2階から中間スラブへ脚立はしごを使用し降りたところバランスを崩し2.9M下のコンテナ上に落下し、そのまま1階床に落ち、左太ももを強打した。その際、安全帯は携帯してたが使用していなかった。	49	1	371	1～ 9
76	2017	4	16～ 17	工事現場にて、旧車庫の解体のため鉄骨を脚立上で切断中、鉄骨が落下し脚立に当たり本人が落下し、頭部・右上腕部を強打した。	26	1	371	1～ 9
77	2017	4	15～ 16	造成工事現場で、フレコンバッグを運搬するため、大型ダンプに積込作業をしていた。クレーンオペレーターからダンプの荷台が見えなかった為、降ろす場所を指示するために荷台に上がって合図を送っていた時、既に積んであったフレコンバッグの吊りベルトに足を引っかけてつまずき躓き転倒し、荷台から転落した。	68	1	611	30 ～ 49
78	2017	4	16～ 17	解体した家屋の窓ガラス（約90×180cm）をトラックへ運ぶ際に、手が滑り足の上に落下し、右足等を負傷した。	52	4	419	10 ～ 29
				朝礼等の終了後、3tダンプに2名同乗し、3名にて現場へ向かう				

79	2017	4	8~9	ため走行中、運転手が運転席の足元に気をとられよそ見をし、道路左側のガードレールに衝突した。	57	17	231	1~ 9
80	2017	3	17~18	被災者と作業員A（4tユニック操縦者）、B（被災者）にて自社資材の片付け作業を開始する。4tユニックに荷吊りをはじめた際、被災者は介錯ロープが絡まっている事に気付き、咄嗟に外そうとして手を出す。被災者の右手親指に介錯ロープが絡みついたが、作業員Aはそのことに気付かず、ユニックのブームを起こす。被災者は指に絡まった介錯ロープに引っ張られ、右手親指のみで吊られ、地面に落ちる。地面に落下した被災者は、右手に違和感を感じたので手袋を外してみると、右手親指の第一関節上部より切断していた。	21	7	372	1~ 9
81	2017	3	16~17	被災者は、親網展張作業をしていた同僚の応援を行おうと、支柱（スケール）に左手を掛け、右手でスリングを支柱に巻きつけるよう同僚に投げたとき、左手で掴んでいたスケールが剥れ、バランスを崩し、約8mの高さから墜落した。吸収塔入口部が開口状態で安全帯も使用していなかった。尚、吸収塔入口部は照明設備を設置しておらず、マンホールからの射光と同僚のヘッドライトのみで暗い環境であった。	18	1	416	10 ~ 29
82	2017	3	15~16	会社の敷地内にて片付けをしていた際、よそ見をしていて、ゴミ捨て場のごみに躓き転倒した。普段なら足が出て着地するところを、足がもつれて膝から落ちてしまった。	35	2	911	10 ~ 29
83	2017	3	22~23	配水管布設工事現場で作業中、ヘッド取り外し後にケーシング下部から水が出てきたので、水を避けてスクリューに手を掛けたところ、オーバーヘッドが外れたのでパイラーオペはスクリューを上げたとき、ケーシング先端とスクリューに左手を挟まれた。	46	7	149	1~ 9
				使用する作業用備品である業務用架台（長さ120cm、幅50cm、				

84	2017	3	13~14	高さ40cm、重量55kg) を業者に引き取りに行った際、架台を持っていた作業員の手が滑り、左手親指がはさまれた。なお、荷積み前には、6ヶ所の穴が合っているかどうかの確認作業をしていた。	54	4	419	1~ 9
85	2017	3	16~17	現場が終わり、事務所の置き場に戻ってきて片付け作業をしているとき、足元に転がっていた鉄筋に気がつかず、右足裏の真ん中あたりを踏み抜いた。	28	9	521	1~ 9
86	2017	3	17~18	事業所内において、脚立に乗り材料の整理をしていたところ、脚立か足を踏み外し左足を強打し骨折した。	28	3	371	10 ~ 29
87	2017	3	15~16	事務所の資材置場でトラックへの積み込み作業中に、抱えていた部材（足場の材料）のうち的一本がスルッと抜け落ち、靴の上から左足の親指を直撃し、親指の第一関節辺り、爪の上辺りから切れて出血した。	27	4	521	1~ 9
88	2017	3	16~17	側溝清掃作業中、使用機械BF015の状況はエンジン、アイドルリング状態で安全レバーはロック状態であった。作業開始時、オペレーターの着用していたトラチョッキに操作レバーが引っかかっているのに気づかず安全レバーを下げた。BF0.15はアイドルリング状態であったため、ゆっくり旋回をして作業員の左側の足腿に接触し、ブロック側に押され、その際に作業員が持っていたスコップが股の間に挟まり、接触した反対側の右側の恥骨にひび、骨折を負った。	65	6	142	10 ~ 29
89	2017	3	16~17	改修工事で使用するスチール足場板（長さ3600mm）をトラックの荷台に積み込み作業中、25枚重ねた足場板を荷台の上で整えていたとき、1枚の足場板が滑り落ちてきて、それと一緒に荷台（高さ約1m）から後ろ向きに転落し、左腰部を受傷した。	67	1	521	1~ 9
90	2017	2	10~11	休憩をして現場に戻る時に事務所から出る時に飛び降りた時バランスを崩し踵から落ちた。	45	3	417	1~ 9

91	2017	2	16~17	会社敷地内で、剪定作業をしていたところ、バランスを崩し、脚立から転落し負傷した。	65	1	371	—
92	2017	2	13~14	自社工場内において、看板取付け工事に行く為の準備作業中、壁面の目の高さに掛けてあった梯子を下ろそうとして転んだ。	46	2	417	1~ 9
93	2017	2	9~10	浴室改修現場で電気給湯機基礎の型枠を組む為に、木材を丸ノコ電気工具にて、加工中、左手で木材を押さえていたところに誤って、右手で持っていた機具がキックバックし、ミスをした為、押さえていた左手に接触し左中指と、左薬指を骨折した。緊急手術が必要だった為、すぐに病院にて手術を行った。	43	6	131	—
94	2017	2	15~16	4tダンプにバックホウを積み込み、ダンプのあおりを戻す際、思ったよりも勢いよくあおりが戻ってしまい、誤って右手を挟み負傷した。	55	7	221	50 ~ 99
95	2017	2	10~11	被災者は、3階にてOAフロア材の移動を2名で行っていた。OAフロア材を下ろそうとしたが、ハンドパレットがパレットから抜けず、2台目のハンドパレットを用意した。一本だけ差し込んで上げたところ、荷を押さえていた被災者の右足に、OAフロア材（600kg）が荷崩れし被災した。	24	5	362	1~ 9
96	2017	2	16~17	倉庫地内にて高木の枝木の樹木剪定作業をするため、二人が梯子を支え一人が梯子に登り剪定作業を行っていた時に、支えていた一人が手を離してしまい、梯子が傾き半回転し、再度元に戻った時に、梯子と木の間に右手首を挟んで負傷した。	42	7	371	1~ 9
97	2017	2	15~16	会社の資材置場で片付け作業中、移動式クレーンで単管を移動していた。吊り上げロープを持っていたところ後から呼ばれたので、振り向いたところ、ワイヤーが吊り上がった。手をはなすのが一瞬遅れて靭帯が伸びた。	42	19	212	1~ 9
				当社の倉庫内に於いて、床に置いたままの業務用空調機室外機を片付ける為、当社社員がフォークリフトにのせ荷物用パレッ				

98	2017	1	9～ 10	トに載せ様とした時、リフトに載せた室外機が不安定だったので、別の社員2名が左右から補助的に支えながら移動作業を行った。補助的に支える作業そのものが危険作業であるにも係らず、安全確認および注意を怠りリフトを前進させた為、フォークリフトの右前輪で社員の左足親指のつま先を踏んでしまった。	29	7	222	1～ 9
99	2017	1	11～ 12	当社工場において、作業長と2名で在庫鉄板の整理中、運搬していた鉄板（9t×450×500）を持ち上げた時、手を滑らせ右足甲部に落下し、親指母指基節部を骨折した。	30	4	611	10 ～ 29
100	2017	1	14～ 15	外構工事にてカーポートを組み立て中、脚立の上でバランスを崩して転落し、両足かかと粉碎骨折を負った。	63	1	371	1～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。